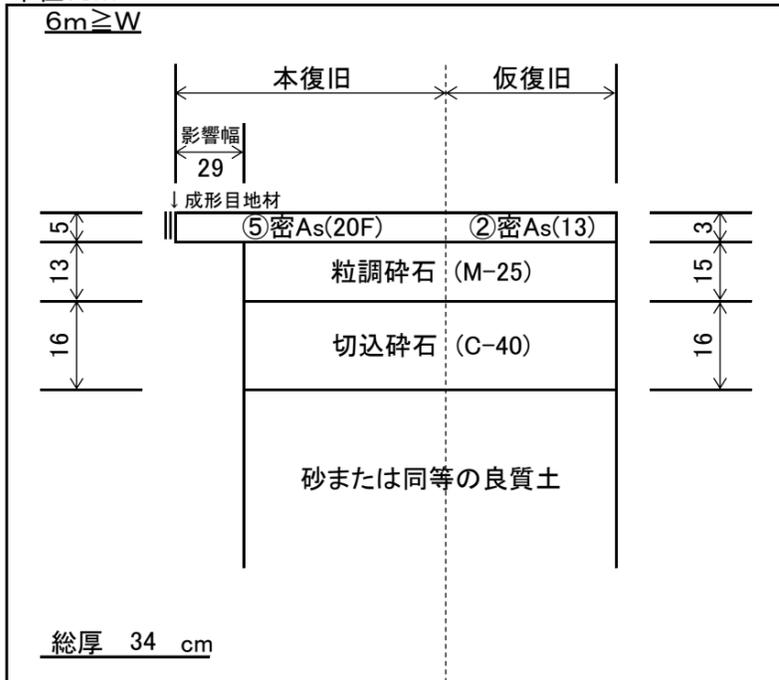


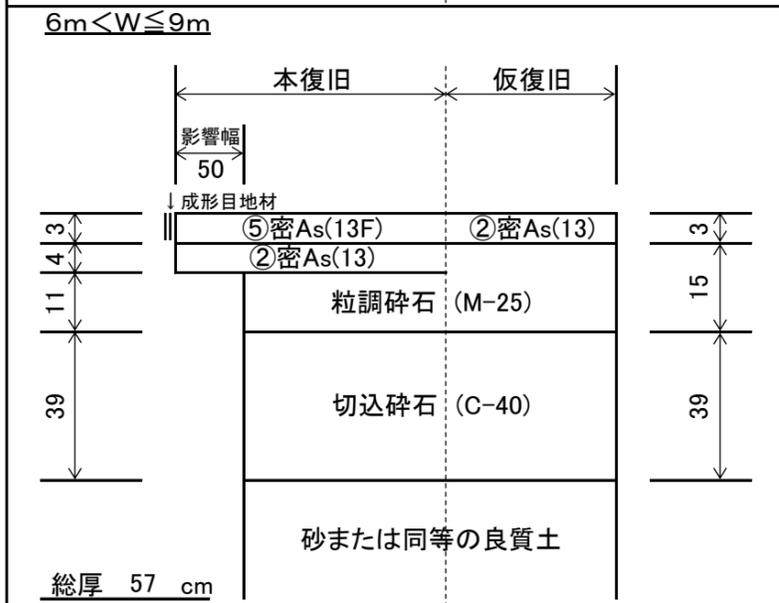
舗装復旧図(車道)

単位:cm

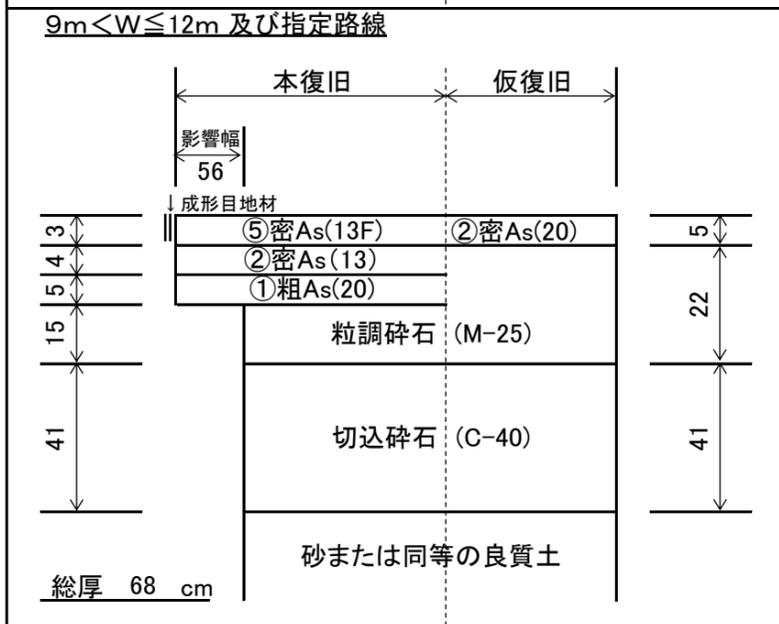
N1・N2タイプ



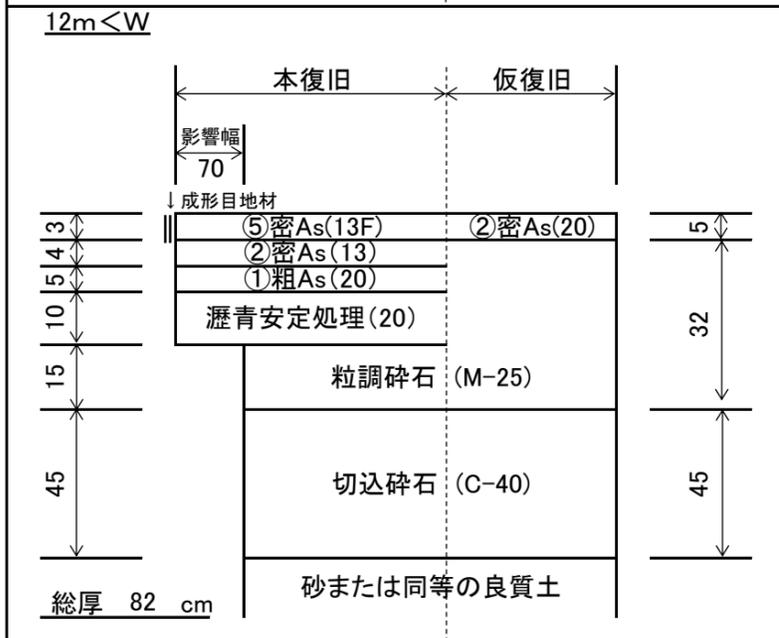
N3・N4打換えタイプ



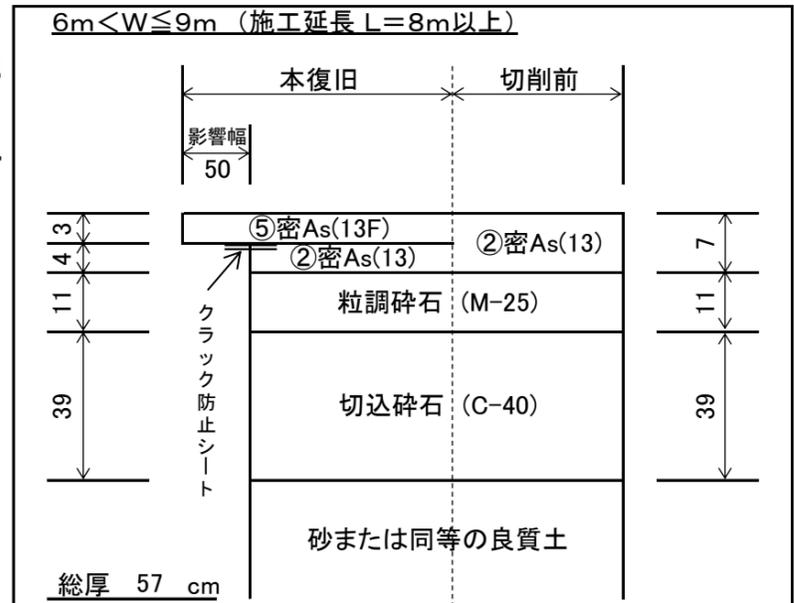
N5打換えタイプ



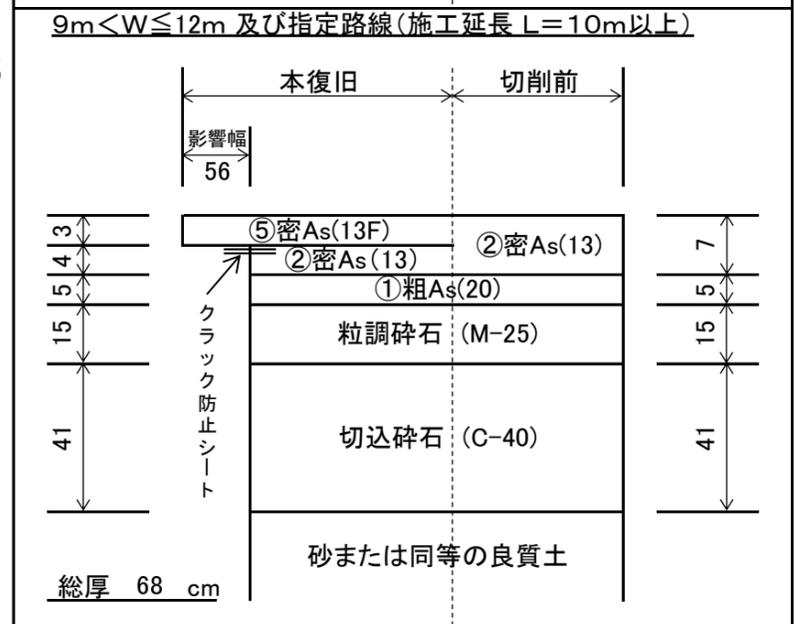
N6打換えタイプ



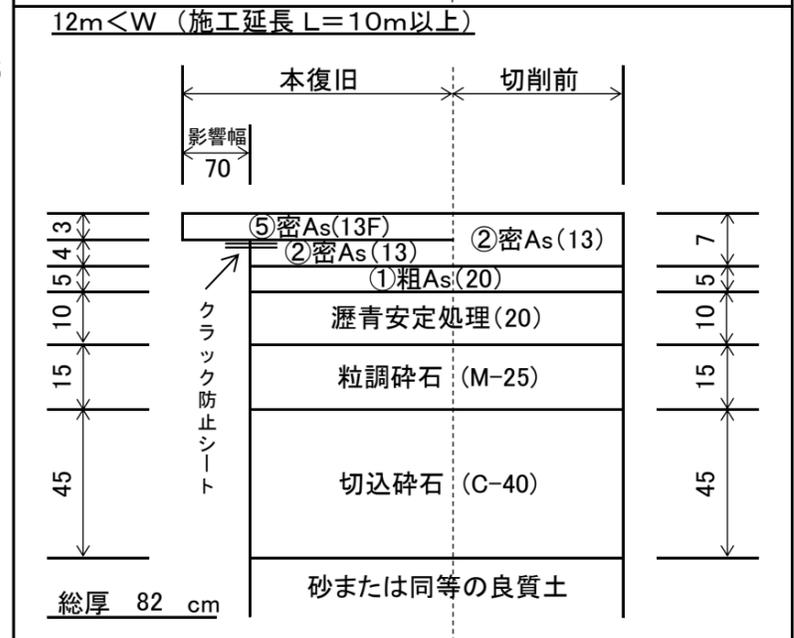
N3・N4切削タイプ



N5切削タイプ



N6切削タイプ



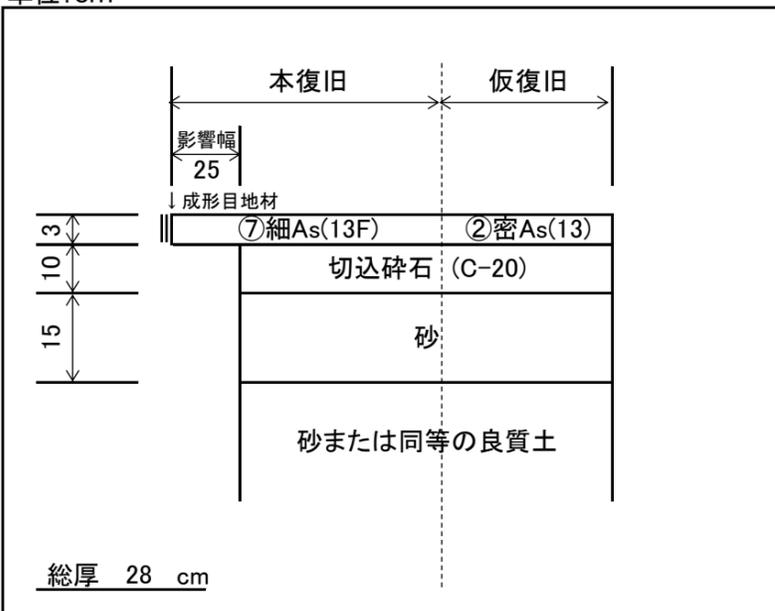
1. Wは、車道の幅員とする。
(歩道がある場合は、縁石までの幅員、歩道が無い場合は、側溝等の外側までの幅員)
2. アスファルト合材及び切込砕石は、再生材を可とする。
3. 影響幅は、記載されている数値以上とする。
4. 影響幅より1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック(ひび割れ)がある場合は、個別に指示するものとする。
5. 舗装切断面及び舗装と構造物の間には、成形目地材を設置すること。
6. 切削した場合は、掘削によって生じた絶縁線に沿ってクラック防止シートを設置すること。
7. 柏崎地区については、吸出し防止材(イオシート)及び路盤補強工(テンサー)がある部分があるので注意すること。
8. 原状回復届の提出から2年以内に、工事箇所へ損傷が生じた場合、施行者の負担において復旧すること。
9. 駅西地区については、車道の幅員で舗装構成及び使用材料が判断できないため、個別に指示するものとする。

※切削オーバーレイは、アスファルトフィニッシャー及び搭乗式の締固め機械を使用すること

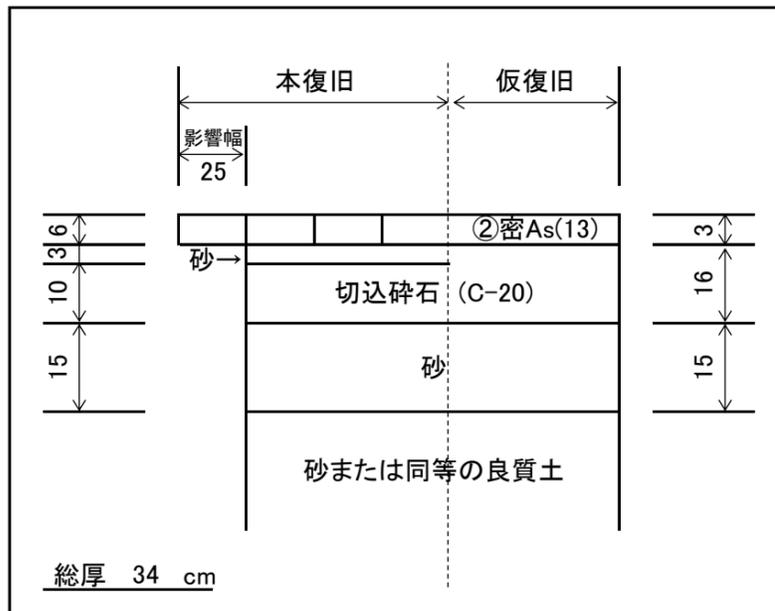
舗装復旧図(歩道等)

単位:cm

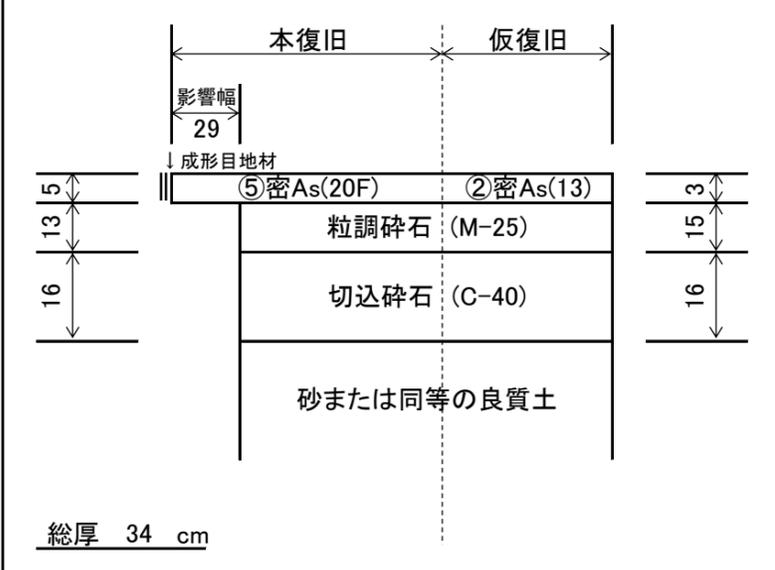
歩道タイプ



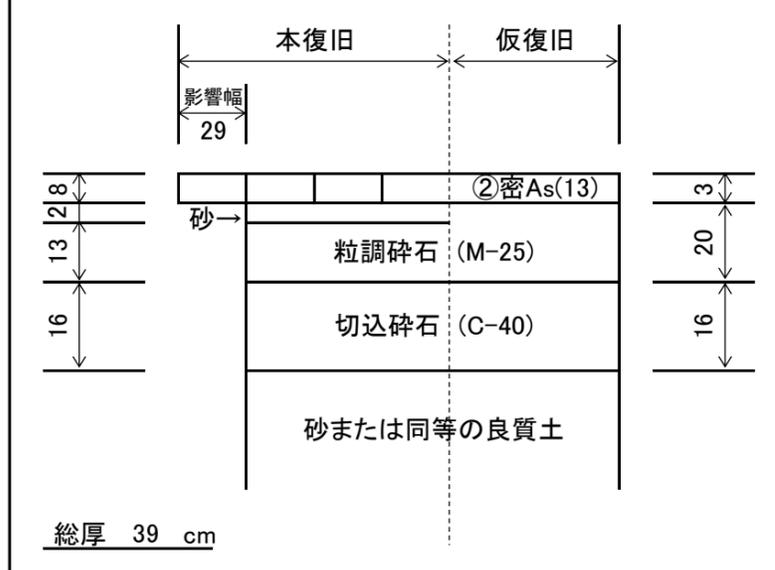
インターロッキング歩道タイプ



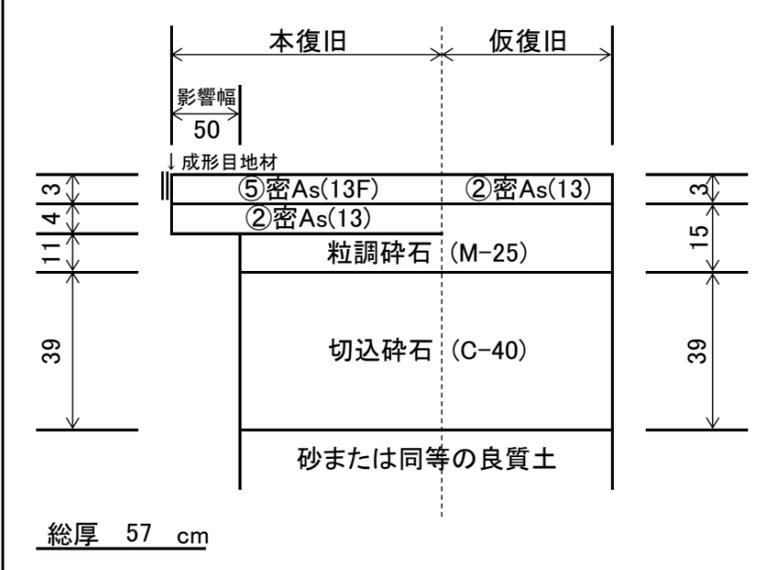
歩道乗入Aタイプ



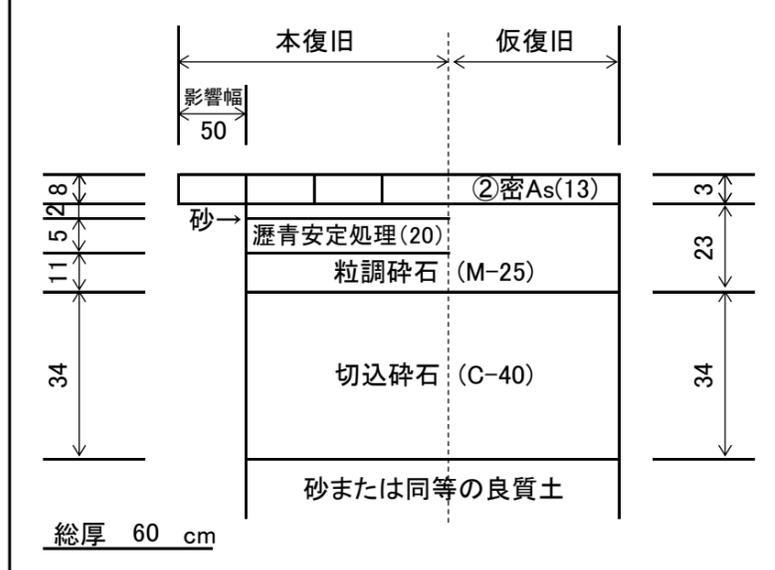
インターロッキング歩道乗入Aタイプ



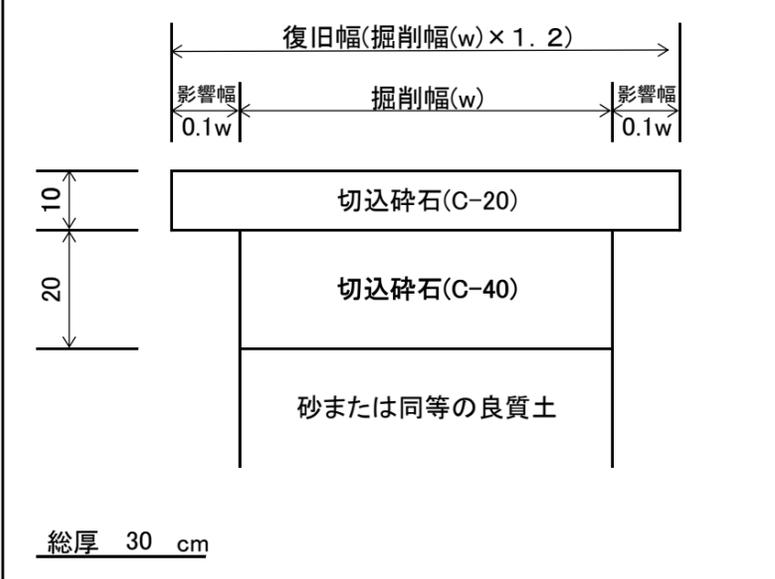
歩道乗入Bタイプ



インターロッキング歩道乗入Bタイプ



砂利タイプ



1. Wは、車道の幅員とする。
(歩道がある場合は、縁石までの幅員、歩道が無い場合は、側溝等の外側までの幅員)
2. アスファルト合材及び切込碎石は、再生材を可とする。
3. 影響幅は、記載されている数値以上とする。
4. 影響幅より1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック(ひび割れ)がある場合は、個別に指示するものとする。
5. 舗装切断面及び舗装と構造物の間には、成形目地材を設置すること。
6. 切削した場合は、掘削によって生じた絶縁線に沿ってクラック防止シートを設置すること。
7. 柏崎地区については、吸出し防止材(イオシート)及び路盤補強工(センサー)がある部分があるので注意すること。
8. 原状回復届の提出から2年以内に、工事箇所へ損傷が生じた場合、施行者の負担において復旧すること。
9. 駅西地区については、車道の幅員で舗装構成及び使用材料が判断できないため、個別に指示するものとする。